

『 今回、全校集会が中止になり、集会で話す内容を書きます。夏休みの生活についてです。よく確認して実践してください。進路だよりNO5に同じような内容もありますが、ご了承ください。 』

すべての受験生に共通することですが、夏休みは、弱点を見つめ、克服する。確実な復習を行い、力をつける夏休みです。この夏休みをどのように過ごすかが、9月からの学習の意欲・生活力の変化につながります。では、受験生は5教科の克服を行います。分校のみんなはどのように努力をすればいいのでしょうか？

① 自分を見つめます。

草加分校に入学してからの期間どのように生活し、努力してきたでしょうか？ほめられていること。注意されていること。様々なことを思い出し振り返ってください、100点満点の生活をしていた生徒はいません。先生もそうです。「打って反省。打たれた感謝」の言葉を思い出し、生活をするように心がけています。

② あいさつ

朝「おはよう」・昼「こんにちは」・夜「こんばんは」日本では時間によって挨拶がわかります。相手に伝える挨拶として行ってください。姿勢を正しく、はっきりと挨拶をする姿を企業の方が気に入り、就労につながった例もありました。

③ 相手の話を聞く力

相手の話を聞いて理解し、それを行動移すことは難しいことですが、メモをとる習慣はついてきています。夏休みは家族以外の話を聞き、内容を理解し、行動すること、発信することを心がけてください。学校生活では、メモをすることは学年が上がるごとにうまくなってきています。ただ、3年生になっても全くできない人もいますが！！

④ 相手に伝える力

夏休みの一日、誰とも話をしないで一日を終えることのないようにしてください。家族の人達と必ず言葉を交わす。家族以外の方と積極的に話をする。可能ならば宅配業者から荷物を受け取ったときに感謝の気持ちを言葉で伝えるなど、一日あった事やテレビやアニメ・気になるニュース等の内容と自分の気持ちや考えを伝えることを日頃、行う努力してください。

お忙しいと思いますが、保護者の方には、言葉が終わるまで聞いてあげてください。理解不能になったときには、一緒に要点をまとめ伝える力を養ってください。よろしく願います。

⑤ 仕事や作業が終わった後の確認しない人達が多いようです。手伝いや仕事では、必ず確認を行い。ミスを少なくする。信用される。信頼され頼りにされる。働く意欲につながります。

夏休みの日課表は、具体的な計画ではない。

一日の流れを考えることも必要でしょう。もっとも必要なことは生活の中に具体的な目標設定することです。自分自身の弱点を知り、どのように弱点を克服するかです。では、みんなの弱点を上げて行きます。

- 相手に伝わる、挨拶ができない
- 自分の身の回りの事をひとりでできない。「義務教育を卒業したみんなは、朝起きて就寝までの一人でできることは当たり前です。努力しましょう」
- 自分の考えを自分から相談して行動うつす人は少ないです。
- 毎日、行わないとダメな仕事を気分で行き詰る。疲れた時は行かない。遅刻・欠席・作業のさぼる人がいます。仕事は疲れても丁寧に取り組みます。社会人としては当たり前です。
- どんな仕事でも、丁寧・確実に行うことができない。
- 毎日の仕事が終わると確認しないで報告をする。

夏休みは具体的なテーマと目標が必要です。他の人と比べる必要はありません。でも少しは意識してください。なぜなら、人との関わり仕事をするのが社会人の始まりです。自己満足で終わらせては40日間が無駄になります。9月の飛躍を臨めません。